



鹿折小学校学校安全だより

第9号

令和 2年 10月7日

担当 畠山 昭洋

○子供の体力向上について

運動会の練習が始まり、みんな元気に頑張っています。しかし、今まで新型コロナウイルス感染症予防のために思い切り体を動かすことが少なかったためか、すぐに疲れてしまったり、走り出したとたんに転んでしまったりする児童もいます。健康増進と安全のためにも、児童の体力を向上させていきたいものです。

2007年に日本整形外科学会が「ロコモティブシンドローム（略称ロコモ）」という概念を提唱しました。これは、筋肉や関節、軟骨や椎間板などの運動器に障害が起こり、歩行や日常生活に支障をきたしている状態をいいます。近年、運動不足の子供たちにもこの心配が出てきていると言われています。

- 家の中でつまずいたり、すべったりする
- 片足立ちで靴下が履けない
- 階段を上るときに手すりが必要
- 少し重い道具を使う仕事（手伝い）がづらい
- 2kg程度の荷物を持つのがづらい
- 15分程度の徒歩での移動が困難
- 一般的な横断歩道を青信号で渡り切れない

左の項目に一つでも当てはまると、ロコモ予備軍ということになるそうです。（子供用に改変しています。）

親に比べて子供の運動量が少ないために、「将来、親がロコモの子供を介護するケースが出てくるだろう。」と予測している医師もいます。子供の将来と、家族の幸せにも関わる問題です。

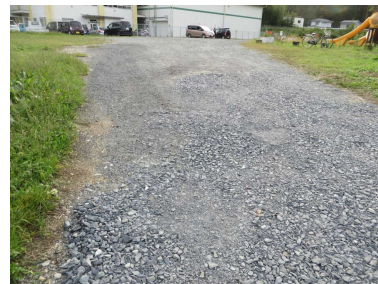


体力向上のために毎日できる運動の一つに「**徒歩での通学**」があります。朝早く起きてきちんと朝食をとるなどの規則正しい生活にもつながりますので、お勧めいたします。

○校舎周辺の安全について

校門周辺の路上駐車・停車は、他の車両の通行を妨げ、児童の安全にも影響を及ぼします。児童の安全のため、また、地域の交通の流れをスムーズにするために、西八幡公園を御利用いただきますよう、御協力をお願いいたします。

※やましち建設様に御尽力いただき、西八幡公園の入口が改修されました。



○鹿折子ども見守り隊

登下校中の児童の安全を見守っていただく組織が結成されました。

10月6日（火）には、鹿折地区振興協議会の代表の方々が来校して、朝会で子供たちにお話をしてくださいました。

早速放課後には、ライムグリーン色のベストを着た方が見守り活動を行ってくださいました。子供たちの安全のために力をお貸しいただけることに感謝いたします。



御来校いただいた子ども見守り隊の皆様

鹿折地区振興協議会会長 尾形順一様

気仙沼市民生児童委員協議会会長・社会福祉協議会会長 渡邊耕良様

鹿折ボランティアクラブ代表 藤村美代子様

鹿折地区まちづくり協議会副会長 佐々木喜美子様